

科目名	視覚機能学特論			分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位
担当教員	◎教授 松岡久美子 准教授 林 弘美 講師 野川由紀						
課程	博士後期	配当年次	1～2年	配当学期	通年	授業方法	講義
授業の概要	視覚機能のうち特に形態覚の生理および病理を講義する。形態覚発達異常としての弱視の検査、診断および治療法に習熟する。(オムニバス方式)						
授業の到達目標	①形態覚の発生と障害について説明できる。 ②瞳孔を中心に視覚機能異常を説明できる。 ③心理学の観点から弱視視能矯正を説明できる。 ④各種弱視に対する視能矯正の実際を説明できる。 ⑤弱視の治療法として屈折矯正、視能矯正による視力増強訓練を学び説明できる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	松岡久美子	教授	形態覚の発生と障害について学び、説明できる。			
	2	松岡久美子	教授	形態覚の発生と障害について学び、説明できる。			
	3	松岡久美子	教授	形態覚の発生と障害について学び、説明できる。			
	4	松岡久美子	教授	形態覚の発生と障害について学び、説明できる。			
	5	松岡久美子	教授	神経眼科に係わる視覚機能異常について学び、説明できる。			
	6	松岡久美子	教授	神経眼科に係わる視覚機能異常について学び、説明できる。			
	7	松岡久美子	教授	神経眼科に係わる視覚機能異常について学び、説明できる。			
	8	松岡久美子	教授	神経眼科に係わる視覚機能異常について学び、説明できる。			
	9	野川 由紀	講師	弱視と心因性視力障害について学び、説明できる。			
	10	野川 由紀	講師	弱視と心因性視力障害について学び、説明できる。			
	11	野川 由紀	講師	弱視と心因性視力障害について学び、説明できる。			
	12	野川 由紀	講師	弱視と心因性視力障害について学び、説明できる。			
	13	林 弘美	准教授	ロービジョンと視能矯正について学び、説明できる。			
	14	林 弘美	准教授	ロービジョンと視能矯正について学び、説明できる。			
15	林 弘美	准教授	ロービジョンと視能矯正について学び、説明できる。				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点を、質問したり、ノートや配布資料、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	随時 指示する。						
参考書							
成績評価の方法および基準	レポート50%、口頭試問50% 欠席・遅刻・早退は減点の対象となる。1回欠席につき5点を減点する。遅刻・早退は3回で欠席1回とみなす。						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。 (ディプロマ・ポリシー1に相当する)						